



編集後記

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

10月18日に発表された2018年度医師臨床研修マッチングの最終結果によると、定員充足率100%だったのは11大学で、そのほとんどは都会の大学です（ちなみに本学は、充足率80大学中75位の41.86%、マッチ数18人でした）。充足率が30%未満の大学およびマッチ数が10人未満の大学は4大学あり、そのうち3大学が東北地区の大学で、依然として地域格差が著しいのが現状です。10月22日から、専門医プログラムの募集が開始されましたが、同様に都会に集まる状況が変わる気配はありません。シーリングという制度がありますが、若者にとっては、“泌尿器科ありき”ではなく、“都会に住むことありき”でしょうから、どこまで効力を発揮するかどうかは疑問です。これは、専門医機構が制御できる問題でもないような気がします。

さて先日の土曜日に、地元の高校1年生を対象に模擬講義を行いました。90分講義を2コマ、ロボット手術の話をしました。そして講義の後半に、震災以降の福島の医療の現状を訴えて、「これからの福島の医療は支えるのは君たちだ」と熱く語りました。1週間後に高校生の感想が送られてきましたが、講義を通して、ロボット手術ではなく、たったこの1フレーズが

高校生の胸に最も響いたようです。震災からもうすぐ8年、福島の明るい未来を予感しました。

その翌日の日曜日、山形県東根市に車で片道約2時間かけて、本学ラグビー部6年生の最終試合を見に行きました。昨年の最終試合は福島県で開催されたのですが、横浜での学会を途中で抜けて、新幹線と在来線とタクシーを乗り継いで、台風の中ラグビー場まで往復しました。今年も6年生のラグビー部員からお願いされたこともあり、2つ返事で了解し応援に行きました。私自身はラグビーをやったことはなく、ラグビー部の顧問でもありませんので、ルールも曖昧なのですが、ただただ純粋にボールを追いかけてぶつかり合う“生”のラグビーの試合を見てみると、鳥肌が立つほど感動します。昨年も今年も本学ラグビー部は圧勝。部員から私への感謝の気持ちを聞いたり、その後に送られてくるLINEを読むと、教員冥利に尽きます。おそらく彼らのすべてが福島県には残らないでしょうし、将来泌尿器科医になるのかもわかりません。ただ、初期研修医や後期研修医の地域格差の現状を尻目に、こんな些細な出来事が、福島で働く「教育者」として少しでも誇れる瞬間です。

（小島祥敬）

臨床泌尿器科（第72巻 第13号）（通巻867号）
2018年12月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：本体2,800円＋税

（2018年年間購読料（増刊号を含む13冊、送料小社負担））
冊子版 39,840円＋税
電子版（個人） 39,840円＋税
冊子＋電子版（個人） 44,840円＋税

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724

（担当：金子・今田）

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。